

HuMA News Letter

パキスタン水害被災者のための医療支援報告

2010年7月25日から降り続いた大雨により、パキスタン北西部では大規模な洪水が発生し甚大な人的被害を被り、推定で死者は1,600人を超え避難者は400万人に達し、被災者の合計は1,700万人に及ぶ大規模な災害に拡大しました。HuMAでは国際機関からの情報などを評価・検討し、医療支援の必要性が十分あるとの結論に至り医療チーム派遣の可能性について探るため、8月20日から9日間初動調査チームを派遣しました。その結果、緊急度は低いものの医療需要は高く、安全性やカウンターパートの確保も問題はなく活動サイトも豊富であり、HuMAは本隊医療チームの派遣を決定しました。派遣陣容は医師4名、看護師5名、調整員2名の合計11名態勢であり、9月3日から30日までの28日間にわたり医療支援活動を実施しました。



パキスタン人と同様の格好の医療チーム第一陣



アコラハタック村の待合室の風景

HuMA派遣医療チームはパキスタン旧北西辺境州ノウシェラ郡を拠点に活動を展開し、避難生活を強いられている住民に対して医療支援を実施しました。主な活動サイトは、アコラハタック村の駅舎、シェドウ村の学校、ジャパンギラン村の名士宅を中心に合計6箇所を選定しました。

この地域での主な疾患は上気道感染症、嘔吐症、下痢症、眼科疾患、筋骨格系症状等であり、診療患者数は延べ2,216名で、男性1,003名、女性1,213名となっており、15歳以下の小児は50%弱の1,069名にのぼりました。



近くではテント生活をする多くの人々がいた



診療を行うHuMA医師



子供たちには笑顔が見られた



赤ちゃんに診療を行うHuMA医師

今回のパキスタンでのミッションは2005年のパキスタン地震の際にお世話になった日パ・トラベルという旅行会社を通じて、ホテル手配、車輛移動手配等をお願いしました。また日パ・トラベルの系列で現地NGOである日パ・ウェルフェア・アソシエーションとカウンターパート関係を結ぶことが出来ました。

特にパキスタンでは派遣者の安全を最優先に考え日パ・ウェルフェア・アソシエーションからの助言もあり、診療活動中は自動小銃を携帯した武装警察官2名を常時手配し、安全には万全を期すようにしました。

また移動の際の車も2台手配し、安全最優先で活動を行いました。



診療の様子を見守る武装警察官

また同時に医療活動をする際にもHuMAの医師、看護師は現地パキスタン人と同様の格好をするように心がけ、特に女性は頭にスカーフを巻いて遠目にも外国人であることがわからないように務めました。



患者に医薬品を渡す看護師

活動の後半にはパキスタン政府の首相補佐官が部下2人と官邸記者クラブのカメラマンを連れて、HuMAの活動サイトを視察に訪れました。同補佐官は診療を待つ住民の声にじっと耳を傾け、またHuMAの医師の傍らに10分間ほど座り診療の様子を見守っていました。



実際の診療風景



医薬品を供与するHuMA医師

不足している医薬品を日パ・ウェルフェア・アソシエーションに対して供与することになり、特にビタミン剤、浄水錠剤、鉄剤、抗生剤入り軟膏等々を大量に供与しました。

○会員募集・寄付金のお願い

HuMAでは本会の活動方針にご賛同いただける会員・賛助会員及び活動資金の寄付金を随時募集しております。

資料請求のお問い合わせ、銀行振込の場合で領収証をご希望の場合、また[寄付者の掲載について匿名をご希望の方](#)は下記事務局までご連絡を頂けますようお願い致します。

寄付金受付先

[銀行]

みずほ銀行 根津支店 普通預金口座 8010278
特定非営利活動法人 災害人道医療支援会 理事長 鶴飼 卓

[郵便局]

口座No. 00190-6-569149
口座名: 特定非営利活動法人 災害人道医療支援会

ただいまの会員数**439名**
・正会員98名・登録会員226名
・賛助会員115名
(2010年10月現在)

発行＝特定非営利活動法人災害人道医療支援会
連絡先＝サポート事務局 〒154-0024東京都世田谷区三軒茶屋1-24-1シャコーポ308
TEL/FAX: 03-3413-7510 Email: tso@huma.or.jp ホームページ <http://www.huma.or.jp>